

令和6年4月からの水道料金の値上げ議案 委員会審議の結果、共産党は賛成しました。

～料金改定による影響額の試算～

■ 口径別、使用水量別の現行料金と平均約16%改定料金の比較(税込み、メーター使用料含む)

口径	20mm				40mm	75mm
使用水量	8m ³ /月	10m ³ /月	20m ³ /月	30m ³ /月	1,000m ³ /月	2,000m ³ /月
イメージ	 1人暮らし	 2人暮らし	 3人暮らし	 4人暮らし	 病院	 工場
現行料金 (メーター使用料)	1,111円/月	1,383円/月	3,000円/月	4,804円/月	305,547円/月 うち、319円	689,403円/月 うち、1,980円
差額	1,282円/月 (+171円)	1,586円/月 (+203円)	3,434円/月 (+434円)	5,513円/月 (+709円)	359,636円/月 (+54,089円)	811,869円/月 (+122,466円)

交野市が水道料金の値上げを提案した理由

- ① 料金回収率(供給単価÷給水原価)が100%を下回っている現状では、老朽化している基幹管路の更新費用のための国の補助金(事業費の1/3)の対象にならないため。
- ② 物価高騰で、燃料費調整単価が大幅に高騰していることと、自己水70%から80%に引き上げたことに伴う電力使用量の増加によって、水をつくり供給するために必要な動力費が増加しているため。
- ③ 管路の更新費用や、電力高騰などに料金改定をせずにこのまま続ければ、令和10年には資金残高(貯金)が8億円を下回り、令和11年に資金残高が枯渇し、その時に対応すれば53%の大幅な料金改定が必要となるため。

交野市の水道事業の現状

- ★交野市の水道水は、自然ろ過方式で浄水処理された自己水(地下水)8割、企業団水2割のブレンド水を交野市水道局で供給している。
- ★この間、警察学校の移転や、製麺所の撤退などによって大口利用者が減少し、料金収入が-13%の大幅減となり、併せて節水技術の進歩もあり、転入世帯が増えていても、大口利用者の減を補えるほどにはなっていない。
- ★令和3年9月に市内で起こった、配水管の破損による、大規模断水のような事態にならないために、老朽化する基幹管路の更新という待ったなしの課題対応が求められている。

実施予定の補助対象となる基幹管路の更新

- 低区配水池の送水管と配水管の更新
- 高区配水池の送水管と配水管の更新

市民の負担軽減策の実施を!

物価高騰が続くなか、今回の値上げで、年間総額約1.7億円の負担増となります。そのため、日本共産党は、市民の負担軽減策を水道料金改定とあわせて実施し、全体として負担増とならないよう求め、市長から次の負担軽減策を行う旨の答弁がありました。

- 令和5年度中に、下水道基本料金2ヶ月減免措置(約6千万円)を実施。
- 令和6年度は、約1.1億円分の負担軽減策を議会と相談しながら検討し対応。
- 令和7年度以降についても、市長の任期中については下水道基本料金の減免等で負担軽減策を実施。